

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援 くるみ
------	------------

公表日 令和 7年 12月 3日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		スペースは十分にあり、活動内容によって場所を変えて取り組むように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		規定の配置以上の職員を配置し支援を行っている。児童の状態や活動の内容に合わせて配置を増やす等の対応もしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		動線を考え棚の配置を行い、玄関にはスロープ、施設内には段差は無くバリアフリー化された環境である。玄関周りの段差については必要に応じて言葉掛している。児童が自分で玩具を選び手に取れるよう高さも工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		児童が帰宅した後必ず清掃を行い、定期的にマットの洗浄も行う等、清潔な環境で支援を行っている。定期的に安全点検も実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて個別で部屋を使用し、児童の状況や状態に応じた対応を行うようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童の状況や状態に応じた対応を行うようにしており、個別で対応する空間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全職員参加のもと事業所会議を開催、必要に応じて朝礼や終礼時に支援の見直しを行う事が出来ている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		アンケート結果について集計し会議の場で共有。その他意見についても都度共有を行い業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて第三者に意見を求め、意見を業務改善につなげるよう共有している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修や毎月職員研修を実施し資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムの作成を行い、HPで公開している。今後、必要に応じて見直しも行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者に様子を伺い、アセスメントを行い個別支援計画作成を行っている。また原案完成後、職員間で共有し計画内容について十分に話し合っ計画作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		担当者が原案作成後、個別支援会議を開催し内容について検討し、共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		都度、共有しており、作成された計画に沿った支援を心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		個別支援記録、朝礼、終礼、今日の出来事を記録し共有し確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		都度、保護者と話し合いを行い、支援についてガイドラインの項目を踏まえた上で本人にとって必要な項目について検討し設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員間で話し合っ立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		職員間で分担し企画しており、季節のものや児童が興味を持っている物を取り入れながら固定化されないよう工夫し実施している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		自宅での様子、事業所での様子を踏まえて保護者または関係機関からの意見を貰いながら計画を作成し、支援の実施を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		勤務表、週別表で役割分担について記載し、朝礼時に児童の様子について、支援について、役割分担についてなど業務に関する内容の確認を必ずおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時に1日の振り返りを行い、出来事や様子等について職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		朝礼、終礼の申し送りについて記録、個別支援記録、今日の出来事など記録に残し、都度支援について改善に向け検討を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		1〜6か月の定めた期間内にモニタリングを行い、企画の見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期健診、受診同行を行い情報共有をしている。 検診時には保健師に情報提供もしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		都度、連絡や見学に行き情報共有を行っている。 また保護者を通して情報共有を行う場合もある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学移行の児童はまだいないが、今後、移行の際には情報共有を行う。現在利用している放課後等デイサービスの利用児童が通う学校とは必要に応じて本人について情報共有を行っている。	
	28	(28〜30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		助言を受ける機会は今までないが、連絡を取ることで等障がりはあり、連携は取りやすい状態である。児童発達支援センター主催の研修に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		活動として招待する事や招かれるような内容の取り組みはないが、公園に行く事や公共施設に行く事で聞かれる機会は設ける事が出来る。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時、連絡帳、状況に応じ電話連絡を行う事や定期的な面談時に情報共有を行いながら共通理解に努めている。また、課題に対する意見共有もしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時、連絡帳、状況に応じ電話連絡を行う事や定期的な面談時に情報共有、対応方法について提案を行っている。研修の取り入れは行った事が無い。常時、保護者からの相談には応じる体制にしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に紙面で確認を行いながら丁寧な説明を心掛け実施している。変更時にも説明、同意を得ている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談を実施。作成前に意向について確認を行いながらアセスメントを実施している。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画作成後、保護者に内容の説明をおこない同意を得ている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		都度、相談の受け入れをおこなっており、迅速に対応出来るよう心掛け助言や支援を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に1度保護者会の実施。各行事で保護者同士が交流出来るようグループでの取り組みを行う等工夫しながら実施している。運動会では兄弟も参加出来るように誘い掛けもっている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		常に相談や申し入れの受付は行っており、あった場合には迅速かつ適切に対応するよう心がけ、内容について検討し対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムで取り組んだ活動について掲載する事や、ホームページの保護者専用ページにて活動の様子について写真を掲載し家庭で見れるように発信している。行事予定については紙面やpdfで配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠ロッカーを使用。事務所出入口も施錠。施設のセキュリティも作動させてから退動しており、個人情報への取り扱いには十分気をつけている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		各家庭、一人ひとりに合わせて情報の伝達を行うようにしている。事実を伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏祭りではキッチンカーを招き、秋には獅子舞の来訪するなど、地域住民にも参加してもらえよう開放している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれマニュアルを策定。利用契約時に説明を行っており、定期的に訓練も実施。年に1度消防職員に協力してもらい防災訓練も実施している。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		委員会BCPについて話し合いを行い、会議で共有。災害時や緊急事態に備えた訓練を研修で実施。児童と一緒に災害を想定した訓練も職員も参加し行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に既往歴等について確認している。服薬や予防接種、状況について都度確認を行っている。定期受診についても情報提供を各家庭にお願ひし、服薬等についても都度確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーがある児童については、契約時やその都度状況に詳細を確認し、指示書がある場合には指示書のコピーを保護者に確認し提出して貰い、調理場職員も含め情報共有を行って対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に施設環境についての安全点検を実施。研修、訓練を実施し安全管理を行いながら支援を行っている。外部の防災点検にも入って貰っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		利用契約時に説明し、理解を得てから契約を成立している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日、今日の出来事としてヒヤリハットについて共有を行う時間を設け、話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待研修を毎年実施している。外部研修にも機会があれば参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束について研修を受け、必要であると判断した場合には事前に同意書を取る、細かな記録を取る等説明を受け理解出来ている。必要な児童はおらず、現段階で計画に記載している児童はいない。	